

パブリックコメント実施結果報告書

平成29年3月31日

担当課	とっとり暮らし支援課
担当者	野坂 明正
連絡先	0857 - 26 - 7129

意見公募のテーマ： 「鳥取県みんなで取り組む中山間地域振興条例」の一部改正（案）について

①手段別意見応募件数（意見件数を記入してください。応募者数は（ ）書きしてください。）

（記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合には、 3（1）と記載してください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民課・総合事務所等へ	その他の方法	計
23（3）	（ ）	8（1）	（ ）	（ ）	31（4）

※「その他の方法」の例：意見交換会、電話、イベントなど

②応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した （一部のみ反映したものを含む）	14	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ災害が起きても即対応可能な備えをしておかなければ、命は守れない。行政だけではできないので、住民も行動を起こし、それを子どもにも伝えていくことが必要。 ・地域住民が高齢者に声掛け、見回りを日々行えば絆が強くなり、災害が発生した時は避難困難者から救助するなど災害に強い地域になっていくことにつながるのではないかと。 ・高齢者や障がい者がどこに住まれているのか、民生委員が主体で調査し、個人情報保護に気付けながら把握しておくことが必要。 ・避難所となる建物は、統廃合された学校や体育館の活用や、耐震化された公民館、集会所と兼用するのが理想的である。まずは、拠点を各地域、集落ごとに整備すべき。 ・中山間地の診療所では、医師自身の高齢化や後継者不足を理由とした閉院が続出している。また、地域包括ケアシステムの一翼を担う訪問看護師について、中山間地の訪問看護ステーションの看護師の確保が特に困難となっているなど、人材確保が必要。 ・地域から若者が流出している。若者が1JUターンして移住・定住ができる環境を整備することが必要。
既に盛り込み済み	16	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地の道路や河川の維持管理には、そこに住む住民の強い絆が必要。住民が使用する道路だからこそ地域住民が結束して道路や河川の維持管理をしていき、道路や河川の異常を見つけてことで災害に強くなるのではないかと。 ・農林業を若者にもやってもらい、地域づくりにも参加して活躍してもらう体制を整え、若者の人口を増やしていくことが必要ではないかと。 ・食料品、日用品等の皆元に不便をかんじないように移動店舗の導入も必要。 ・農業をする若者を増やし、定着させるには、付加価値を付け、高く売れる農作物を耕作し、魅力ある農業に変えていくことが必要。
今後の検討課題		
対応できない		
その他 （例：施策の体系外の意見等）	1	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルで無駄を無くすよう点検することも大切であり、見直しもやっていくべき。
計	31	

※上記による分類が困難な場合は、担当課の整理に基づく分類で差し支えありません。

③意見募集結果概要書を、1部添付してください。 →とっとりネットのバブコメページ・県庁ロビー掲示板で公表します。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

とっとりネット （実施担当課）	報道機関への 資料提供	県議会への報告	県民課等での 縦覧等	広報誌等への 掲載	その他
		1			

※「その他」の例：審議会報告など